

通話品質の問題をトラブルシューティングするために 2 つのエンドポイント間で直接 IP アドレス コールを使用する

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[トラブルシューティング](#)

[H323 による IP-to-IP ダイレクト コール](#)

[CLI 設定](#)

[GUI 設定](#)

[H323 コールフロー](#)

[SIP による IP-to-IP ダイレクト コール](#)

[CLI 設定](#)

[GUI 設定](#)

[SIP コールフロー](#)

[診断 \(Diagnosis \)](#)

概要

この資料に WAN またはインフラストラクチャ デバイス問題の可能性を隔離するため同じネットワークにである 2 つのデバイス間でポイントツーポイント IP ビデオ コールを送信する方法を記述されています。

背景説明

時々コール品質 (オーディオ/ビデオ)、コール接続、または単方向音声/ビデオにおいての問題がある場合もあります。完全なコールセットアップに関連する、従って問題は解決しにくい場合もあります多数のデバイスがあります。

WAN は正しく設定されないか、または Quality of Service (QoS) 値がコール ルートに沿ってきちんとマークされなければ悪いコール品質のための原因の 1 つである場合もあります。またコンフィギュレーションに関する問題がある場合 Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) か Cisco Unified Communications Manager (CUCM) が問題を引き起こす場合があります。

この資料はデバイス自体は問題の原因であるか、または他のファクタが (WAN かインフラストラクチャ デバイスのような) その原因問題あるかどうかテストするために使用できる方法を記述したものです。

トラブルシューティング

これら二つのシナリオで 2 つのデバイスの間で呼び出しを送信することは可能性のあるです:

- デバイスが両方とも同じネットワークにある時。
 - デバイスが両方ともパブリック IPS におよびあるとき互いから到達可能です。
- これらの呼び出しは 1 つのデバイスの IP アドレスがその他のデバイスからダイヤルされるときしか送信しないことができます。IP アドレスは H323 か Session Initiation Protocol (SIP) によってダイヤルすることができます。

H323 による IP-to-IP ダイレクト コール

このセクションは呼び出しが 2 つのエンド ポイントの間で直接送信されるようにする標準 H323 設定を提供します。デバイス CLI または GUI の使用によってこれらの設定を設定することを選択できます。

注: デバイスの両方でこれらの設定が必要となります。

CLI 設定

この設定を CLI によって設定するために、デバイスにセキュア シェル (SSH) セッションおよび管理者の資格情報とのログインを確立して下さい。ログオンされる、デバイスを設定するためにこの情報を使用して下さい:

```
xConfiguration H323 Profile 1 CallSetup Mode: Direct
xConfiguration Conference 1 DefaultCall Protocol: H323
xConfiguration NetworkServices H323 Mode: On
```

GUI 設定

GUI でこの設定を設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. エンド ポイント GUI にログインして下さい。
2. **Configuration > System 設定** にナビゲートし、画面の左側の **Conference タブ** をクリックして下さい:
3. **DefaultCall** セクションで、**H323** を **プロトコル廃棄メニュー** から選択し、『**SAVE**』 をクリックして下さい:

4. **Configuration > System 設定**にナビゲートし、画面の左側の **H323** タブをクリックして下さい。プロファイルでは 1 つのセクションは *CallSetup* モード廃棄メニューから、**直接**を選択し、次に『**SAVE**』をクリックします:

5. **Configuration > System 設定**にナビゲートし、画面の左側の**ネットワークサービス** タブをクリックして下さい。 *H323* モード廃棄メニューから『**ON**』を選択し、『**SAVE**』をクリックして下さい:

H323 コールフロー

このイメージは H323 が使用されるときコールフローを説明します:

SIP による IP-to-IP ダイレクト コール

このセクションは呼び出しが 2 つのエンドポイントの間で直接送信されるようにする標準 SIP 設定を提供します。デバイス CLI または GUI の使用によってこれらの設定を設定することを選択できます。

注: デバイスの両方でこれらの設定が必要となります。

CLI 設定

この設定を CLI によって設定するために、デバイスに SSH セッションおよび管理者の資格情報とのログインを確立して下さい。ログオンされる、デバイスを設定するためにこの情報を使用して下さい:

```
xConfiguration NetworkServices SIP Mode: On
xConfiguration SIP Profile 1 Proxy 1 Address: ""
xConfiguration SIP Profile 1 Proxy 1 Discovery: Manual
xConfiguration Conference 1 DefaultCall Protocol: SIP
```

GUI 設定

GUI でこの設定を設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. エンドポイント GUI にログインして下さい。
2. **Configuration > System 設定**にナビゲートし、画面の左側の**ネットワークサービス** タブをクリックして下さい。 *SIP* モード廃棄メニューから『**ON**』を選択し、『**SAVE**』をクリックして下さい。
3. **Configuration > System 設定**にナビゲートし、画面の左側の **SIP** タブをクリックして下さい

。プロキシが1つのセクション空のままになるし、『SAVE』をクリックして下さいように:

4. Configuration > System 設定にナビゲートし、画面の左側の Conference タブをクリックして下さい。DefaultCall ペインで、SIP をプロトコル廃棄メニューから選択し、『SAVE』をクリックして下さい。

SIP コールフロー

このイメージは SIP が使用される時コールフローを説明します:

診断 (Diagnosis)

この時点で、その他のデバイスからの1つのデバイスの IP アドレスにダイヤルし、コールがきちんと接続されるかどうか確かめることができます。コールが予想通り行く場合、問題を特定するために更にインフラストラクチャ デバイス設定に集中する必要がありません。

同じ問題が持続する場合、問題はデバイス自体と (コールが WAN に送信されれば) またはネットワークとあります。